F.C.ヴァーデュア情報

Verdure

◆スルガカップ県大会　下記新聞情報掲載↓

◆2014東海ﾘｰｸﾞ
順位8.9 アスルクラ沼津U15

◆2014県トップリーグ
順位1 JFAｱｶﾃﾞﾐｰ福島↑東海昇格
2 Honda FC
3 藤枝明誠SC
4 藤枝東FC
5 エスパルス静岡
6 SALFUS oRs
7 常葉橘中
8 浜松開誠館中
9 浜名JYC
10 ジュビロSS浜松
11 聖隷JYC　↓降格
12 ジュビロSS掛川　↓降格

◆2014県1部リーグ
順位1 FCヴァーデュア三島↑昇格
2 エスパルス藤枝↑昇格
3 東海大翔洋中
4 アスルクラロ沼津ST
5 ロプタ静岡
6 LIBERO FC
7 静岡学園中
8 エスパルス駿東
9 清水FC
10 OSADA-FC
11 エスパルス榛原　↓降格
12 浜松FC　↓降格

◆2014東部1年生大会 予選リーグ
現在全勝で県大会出場決定!

アスル沼津U15	1-0
エスパ駿東	2-1
長泉アミーゴス	5-0
アスル伊豆	2-0
FC時之栖	5-0
FACT	4-0
アンセム	4-0
リベ駿東10/11	

2014年(平成26年) 10月1日(水曜日)

スポーツ報知

▶▶ 攻撃的なサッカーで挑むFCヴァーデュア三島イレブン

◇F.C.ヴァーデュア三島メンバー◇

背番	位置	選手名	学年	前所属
1	GK	野口　雅史	③	三島徳倉SSS
2	DF	藤田　舜	③	三島北上SC
3	〃	鈴木　敦	③	アスルクラロ沼津
4	〃	村松　智也	③	三島徳倉SSS
5	〃	新村　恭平	②	韮山SSC
6	MF	外岡　佑樹	③	三島北VFC
7	〃	村山　凜成	③	SFC
8	〃	二村　岬輝	③	〃
9	FW	杉山　雄飛	③	韮山SSC
10	MF	布田　翔一	③	三島徳倉SSS
11	〃	土屋　和紀	③	三島南SC
12	FW	丹野　力斗	②	三島山田FC
13	〃	岡崎　優大	③	長泉アミーゴス
14	MF	野際　拓海	③	FCﾃﾙｳﾞｨｴﾝﾄ沼津
15	〃	米沢　蒼史	③	マーレSC
16	〃	土屋　哲哉	③	SFC
17	DF	沓沢　昇吾	③	三島南SC
18	GK	佐々木　涼一	③	三島長伏SSS
19	DF	山本　健太	③	三島徳倉SSS
20	MF	山田　宗	③	三島長伏SSS
22	DF	長沢　龍志朗	③	FACT
23	〃	芹沢　繕秀	③	沼津香貫SSS
24	〃	鈴木　陽介	②	韮山SSC
25	〃	渡辺　海	③	三島北上SC
26	〃	高橋　海斗	②	三島錦田FC
27	〃	山崎　拓実	②	韮山SSC
28	MF	秋山　立也	②	三島錦田FC
29	〃	山本　剛大	②	函南SSS
30	GK	松原　悠樹	②	〃

※学年の白抜きは主将

高円宮杯全日本ユース(U−15)サッカー選手権県予選

JFAアカデミー福島	4(土)10：00中	
アスルクラロ沼津ST	13(月)9：45姫	
FCヴァーデュア三島	4(土)12：00中	
浜松開誠館中	18(土)10：00裾	
東海大翔洋中	4(土)14：00中	
藤枝東FC	13(月)11：30姫	
エスパルスSS静岡	4(土)12：00藤	
浜名JYクラブ	25(土)13：00愛	
藤枝明誠SC	4(土)10：00藤	
聖隷JYSC	13(月)13：15姫	
ジュビロSS浜松	4(土)12：00と	
SALFUS oRs	18(土)12：00裾	
常葉橘中	4(土)10：00と	
エスパルスSS藤枝	13(月)15：00姫	
ジュビロSS掛川	4(土)14：00と	
ホンダFC		

【会場】愛＝愛鷹多目的競技場、裾＝裾野市陸上競技場、姫＝姫の沢公園スポーツ広場、中＝中島人工芝グラウンド、藤＝藤枝市民グラウンド、と＝ときはグリーンフィールド

ヴァーデュア強力TS砲

U15選手権県予選4日開幕

高円宮杯全日本ユース（U−15）サッカー選手権県予選が4日に開幕する。県U−15トップリーグ（L）12チーム、同1部Lから4チームが出場。上位2チームが11月の東海大会に進む。今季1部初制覇を遂げたFCヴァーデュア三島は攻撃の二枚看板、MF土屋和紀とFW杉山雄飛（ともに3年）を軸にトップL勢撃破を狙う。

▲▲ 華麗なドリブルで相手を交わす土屋【上】紅白戦で鋭い突破を見せた杉山

土屋＋杉山27点

ヴァーデュアのTS砲が、県1部リーグで破壊力を見せつけた。全22試合59得点中、土屋がチーム最多15得点。杉山は2番目の12得点だ。松永一宏監督(56)は「二人とも個人で局面を打開できる。強力な2本柱です」と全幅の信頼を置く。

プレースタイルは対照的。しなやかなドリブルとパスセンスに優れるテクニシャン土屋。杉山は体を張ってガツガツ仕掛けていく突貫タイプだ。

「1本のパスで局面を打開し、シュートも積極的に打つ」と土屋。杉山は「得意なポストプレーと代表の岡崎のように泥臭くゴールを狙う」。互いに本番へ闘志を燃やす。

二人以外の〝脇役〟的な存在も見逃せない。県トップレベルのスピードを誇る右ウイング・二村岬輝（みさき、3年）。クレバーなプレーで中盤をまとめるMF外岡佑樹主将（3年）と、指揮官も「攻撃陣は多彩なタレントがそろった」と、自信をのぞかせた。

2002年創部で、日本クラブユース県予選で3度の東海大会出場を果たしている。7年連続出場の今大会は中学生で最後の公式戦。1回戦はトップL8位の浜松開誠館中と対戦し、「少しでも長く、この仲間と戦いたい」。土屋と杉山が声をそろえた。（青島　正幸）

芹沢が守備の核

○…守備面の向上も一部Vの大きな要因だ。空中戦に強いDF芹沢繕秀（よしひで、3年）が最終ラインを統率。松永監督は「読みがよく、ミスが少ない。守備の核となっている」と、期待を込めた。